

# 園長だより NO46

新型コロナウイルスの感染の拡大を防ぐためには、今が重要な時期にあります。行政の指導、助言のもと衛生管理には十分注意を払い対応していきます。

日ごろから手指のこまめな手洗い、咳エチケット、室内の換気など感染予防の徹底をお願い致します。

## 行事を考える その1 誕生会について

私が園長に就任する前、10数年前にさかのぼる頃から子ども達の誕生会は年に1度の特別な日とされ、誕生会当日は保護者の参加をお願いしてきました。

わが子の誕生を保育園で一緒に友達（仲間）に祝われ、親子にとっては至福の時を過ごすこととなります。

当日にはもう一つの思いがあります。誕生会当日は参観の形式をとり、わが子の成長を実感しながら保育園での遊びや生活の姿を理解していただきたいというものです。

### どんな形式で行われきたのか

未満児はわが子の誕生日（前後）に保護者が一緒に登園、クラスで祝い、一緒に遊んで過ごす参加型をとっています。

以上児は3、4、5歳児がホールに集まり、その月の誕生児を祝うものです。保護者同伴での参加になります。

以上児3、4、5歳児の  
誕生会の流れは

- ① はじめのことば
- ② 園長のはなし
- ③ 誕生児紹介 インタビュー  
誕生日のうた
- ④ 出し物（保育士や園児）
- ⑤ 今月のうた「〇〇」
- ⑥ おわりの言葉

上記のような流れで誕生会が行われています。

誕生会を除いた時間は参加型の参観で子ども達と遊び生活を共にします。

### 考えたいことは何か なぜ誕生会

どこの園でもそれぞれの形があり誕生会があります。中には相当凝って、練りに練った計画をたてて取り組んでいる園もあります。

労力をかけ手間をかければよい誕生会になるとはいえません。純粋に本来の意味が置き去りにされている。形だけ整え、きらびやかに過剰に子ども達の気持ちを高揚させている場合もあるでしょう。誕生会だけでなくこの類の行事には、その会を行う本質がみえなくなり、形式的に惰性で行ってしまうことがあります。

### 子どもながらに生まれてきた喜びを

「生まれてきてありがとう」生命の誕生、これほど感動的な場面に出会うことはそう

多くはありません。

わが子の誕生をこころから喜び受けとめその喜びにひたる、誕生日はその感動、その喜びを心にすえなおす日でもあります。

特に以上児は誕生会という定型化した形を行ってきました。やるからには心から楽しめるものにと考え取り組んでいますが子ども達主体の視点が置き去りにされているところがあるのではないのでしょうか

### 一緒に生活する友達（仲間）がいる。

「おたんじょう おめでとう！」クラス内で誕生日の子がいると自然と出るお祝いの言葉、うれしいけど、ちょっぴりはずかしい、誕生日（会）を迎えた子どもはみんな、こんな感情を抱くでしょう。

自分を意識できる、自分がわかり、関わる友達がみえてきます。

それぞれがお祝いする そして「みんなで」「みんなと」誕生日を祝うことが 生活の身近なところに存在する。そんな営みが誕生日を祝うことの意味のひとつだとも思います。

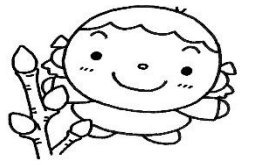
### 身近な仲間祝われること

#### わかり合える 生活の単位で

以前、幼稚園に勤務していたころ一学年170名ほどが集まる誕生会を何度も経験しました。これは 先にあげた行事独走の典型的なものでした。 その子の誕生会はその年齢で1回きり、形式的に会を行っていたこ

とに頭を悩ませたものでした。

誕生会は行事の一つとして割り切り、私はクラスでクラスの仲間でお祝いできる会を子どもと共に考えました。「あすは〇〇ちゃんの誕生日」となれば 仲良しの子どもが中心になり部屋飾りを作ったり、窓ガラスに装飾をしたり、子ども達が主体となり、ささやかな会をしました。



みんなですることを相談して様々なものをつくり、保育室も豪華

ではないが普段よりちょっぴり違った雰囲気をつくり、当然、子ども達がつくったものだから完全なものでなくてもよし、子ども達は楽しみ、満足します。

大人のつくった枠の中に収めようとしては大人の管理の目は芽吹きます。形は整うがみんなが集まり祝う楽しさが薄れてしまう。

誕生会はみんなの集う集会でもある。楽しい友達（仲間）との集いになるように工夫していかなければならない。

特に以上児は各年齢の育ちに合わせた内容を考えていくことも必要だと考えています。

そろそろ、子どもの地点に立った行事（会）の在りかたを再考していく時期にあります。

友達（仲間）と共に心の中に残る誕生会をつくりだしていけるよう知恵をしばり取り組んでいきたいものです。

（ 園長 廣部 信隆 ）